

■アンケート概要

アンケート概要	映画「クレヨンしんちゃんオラたちの恐竜日記」を見たことがある方へのアンケート
調査期間	2025年08月7日
回答数	60人(10代～40代)
アンケート調査元	インターネット調査

■アンケート項目

1. 年齢を教えてください
2. 性別を教えてください
3. 映画「クレヨンしんちゃんオラたちの恐竜日記」の評価を星1～5で教えてください。
4. 映画「クレヨンしんちゃんオラたちの恐竜日記」を実際に読んだ感想を教えてください。

1. 年齢を教えてください。	2. 性別を教えてください。	3. 映画「クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」の評価を1?5で教えてください。	4. 映画「クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」を実際に見た感想(ネタバレを含む)を教えてください。
30代	女性		笑いあり感動ありで良かったです。 4 子どもと観たのですが、しんちゃんあるあるの少しお下品な部分也大爆笑で楽しんでいました。 カスカベ防衛隊のみんなとナナの掛け合いが可愛く、全体的に面白かったです。
30代	男性		5 終盤にかけてハラハラドキドキしっぱなしでした
60代	男性		4 恐竜、という子どもにとって夢のある題材が軸になっていて、子どもから大人まで、懐かしさや切なさを感じられる素晴らしい内容の作品でした。
30代	女性		4 まとまりがあって、感動する素敵なストーリーでした。また観たいです。
30代	男性		3 最近のクレヨンしんちゃんの映画の中ではテーマにしている内容が分かりやすく、恐竜自体も可愛らしいため、誰でも観やすい作品だと思います。ただ、途中までは楽しく観ていましたが、後半部分は飽きてしまい、驚くような展開、後半に向けてワクワクする感覚はなかったです。
20代	男性		4 ほのぼのの内容だったが、しっかりと感動もできる内容でした。
30代	女性		3 ストーリーが今の世の中を反映しているような感じもしたけれど、いまいち面白くなかったかなと思いました。懐かしい曲をネタにしてるけど知っている世代しかハマらない感じもいまいちでした。
20代	女性		4 いつものしんちゃんもいるけど、やっぱり仲間や身近な存在を大切にするあたりや勇気ある行動がすごい感動させられる、母目線になる
30代	女性		3 それぞれの絆が深まり、感動できました。
30代	女性		4 「子どもの幸せを親が決めるな」というメッセージが心に残り、家族の在り方を考えさせられる作品でした。
20代	女性		4 恐竜としんのすけたちかすかべ防衛隊が地球を守るために頑張る話
60代	男性		五歳の孫と一緒に見ましたが、大人も子どもも楽しめる内容でした。恐竜の赤ちゃん「ナナ」がとてもかわいくて、孫はすっかり夢中に。しんちゃんたちの冒険もテンポよく、笑えるシーンと感動の場面がうまく組み合わせっていました。特に別れのシーンでは思わずウルッときてしまいました。子ども向けと思っていましたが、大人も心に残る映画でした。
20代	女性		5 恐竜の描写が迫力があり、ハラハラするところや泣けるところがあるのでまた見たいと思いました。
20代	女性		5 最後のシーンでななが命を落としてしまったシーンが驚きでした。
50代	男性		『クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記』は、しんのすけと恐竜ナナの絆と別れを通じて、命の大切さや成長を描いた感動作です。笑いと涙のバランスがやや不安定に感じる部分もありますが、しんのすけの「一緒に帰ろう」という言葉に象徴される優しさと責任感には心を打たれます。恐竜描写や背景の美しさも印象的で、子どもだけでなく大人も考えさせられる内容です。シリーズの中でも心に残る一本としておすすめできます。
10代	女性		5 恐竜の種類がいろいろ知れたことが勉強になった。 登場した恐竜のななしシロの絡みが可愛かった。
30代	女性		3 しんちゃんと恐竜のナナとの緒に夏休みを過ごしてたくさん思い出を作っていく話です。個人的にはナナのキャラクターとしての魅力がいまいちでした。 ただ、当時5歳だった息子はハマリ。恐竜好きのお子さんには刺さるかもしれません。
30代	男性		2 クレしんでジュラシックパーク的な話をする発想が面白かった一方で、ゲストの恐竜を死なせるあたりは命の尊さ云々は判る一方、露骨に泣かせに来てる印象が少し引っ掛かりました。
30代	女性		4 ナナとシロ、しんちゃんの絆が感動的
30代	女性		4 恐竜ナナとのひと夏の成長がテーマです。カスカベ防衛隊の友情はもちろん、親子愛についても描かれています。 ロボットである恐竜を本物として偽っていたオドロキー博士については、何が本当で嘘かわからない今の世の中を表している気がします。
20代	女性		ギャグアニメのイメージが強いしんちゃんですが、今回は戦争中の暮らしや、物資の不足、空襲の恐怖、人々の不安までかなりリアルに描かれていました。 4 子ども目線で描かれているからこそ、逆に怖さや悲しさが伝わってきました。平和が当たり前じゃないってこと、改めて気づく事ができました。しんちゃんありがとうの気持ちでいっぱいです。
20代	女性		4 シロが優しすぎるし、ナナが悲しすぎる。 子供向けの映画だけどちゃんと命の尊さや友情を教えてくれると思う。

10代	男性		4	しんちゃんらしい笑いもありつつ、恐竜との絆に泣かされました。特に終盤の別れのシーンは思っていた以上に感動的で、大人でも十分楽しめる内容でした。親子の関係や仲間の大切さも描かれており、家族で観るのにぴったりな映画だと思います。
20代	男性		2	映画「オラたちの恐竜日記」は、しんちゃんたちと小さな恐竜「ナナ」との出会いを通して、命や絆を描いた作品でした。ナナはとても可愛く、子どもたちに好かれそうですが、話の展開がやや強引で、感動を狙いすぎている印象も受けました。ピリーと父親との関係や、自立のテーマもありましたが深掘りが足りず、もう少し丁寧に描いてほしかったです。ラストでナナが犠牲になる場面は涙を誘いますが、その必要性に疑問も残りました。子どもは楽しめる内容ですが、大人としては少し物足りなさを感じた一本です。
20代	女性		4	ナナを助けるしんちゃんの純粋で勇気ある行動に感動。涙が止まりませんでした。
20代	女性		5	初めて映画を見ました。めっちゃくちゃ感動したしまた観たいと思った。
30代	男性		5	とても面白かった。クレヨンしんちゃんがそもそも好きなので、クレしん好きは絶対面白い
30代	男性		3	この映画は良くも悪くもすごく令和風というように感じた。面白くない訳ではなかったし、感動しなかった訳でもないけど全体的にすごく優等生が制作したと感じた。というの昨今はちょっとしたことで炎上炎上と騒がれてしまうからそれを考慮したような背景を感じとれてしまった。 最後のしんのすけの恐竜が死んでしまう展開は製作者の反骨精神を感じた。多くの人があの終わり方に疑問を持ったと思うが、あれは制作者達の何かしらの世間へ反抗する叫びのようなものを見た気がする。個人的にあの最後は泣いたりせずに鑑賞していた。安易な演出と言えそうかも知れないけど一つの物語としては意味のある場面ではあったし緩急で言うところの急の役割としては充分意味はあったと思う、 総じて私がこの映画に対しての感想は緩急がある普通の映画だと感じただけだった。
20代	男性		4	大人が決めたやり方で従うのではなく、子ども自身で考えさせることが大事だと思った。やられることは面白くない。
40代	女性		3	メインのキャラクターがまさか亡くなってしまうストーリーにびっくりしました。いつもほっこりするクレヨンしんちゃんの映画では珍しくて、衝撃が走りました。
20代	女性		2	子供達がナナのために一生懸命頑張っている姿は泣いてしまいました。また、ひろしとみさえが自分の子供に対して酷いことを言った親に対して、本気で怒っている姿をみて、親はこうであって欲しいな、こう思ってくれたら嬉しいなと思いました。ですが、最後にナナが死んでしまったのは腑に落ちなかったです。わりとあっさりそのシーンは終わってしまったし、パッドエンドの必要はなかったのではないかと思います。
30代	女性		4	凄く面白くて感動しました
20代	男性		5	「おらたちの恐竜日記」で個人的に一番ツボだったのは、リアルオママゴトでセーラー服を着たネネちゃんが鏡を見ながら「私はやっぱりトカゲなのね」みたいな言葉を発したこと。シロに感動し、泣かされた。
40代	男性		4	恐竜好きな子どもにはいいかな。感動はできたけど
40代	男性		4	とてもおもしろく、感動もできる作品でした。
40代	女性		4	子供と一緒に観ましたが、ナナとの出会いから別れまで、しんちゃんの優しさと成長に胸がいっぱいになりました。命の尊さや家族の絆が丁寧に描かれていて、親としても考えさせられる場面が多かったです。シロの健気さにも涙が出ました。夏休みの思い出にぴったりな、心温まる映画でした。ありがとうございました。
40代	女性		4	ナナとシロが会おうシーンも好きだけど、ナナが暴走した時に、シロが駆けつけるシーンが1番好きです。 ナナが最後にしんちゃんとシロを助けて死んじゃうシーンが、涙がポロポロでて悲しくて、久しぶりに、クレヨンしんちゃんで見ました。
30代	男性		5	しんちゃんの活躍するシーンに期待して映画を観ることができました。ストーリーがとても良く、また観たくなりました。
20代	女性		4	最後感動する内容でした。
30代	男性		3	若干しんちゃんのフォーマットに慣れ過ぎてるかな？と思うところもありますが、標準的なしんちゃん映画として楽しめました。
40代	女性		3	子どもが恐竜好きなので、前半は一緒に楽しみながら観ていましたが、後半はとにかく泣けてしまう展開の連続で、なんとなくドラえものの恐竜映画っぽいと感じました。
30代	女性		4	前半ほのぼのしていて楽しかったですが、後半は少しごちゃごちゃしていてわかりにくかったです。ナナが最後にいなくなるシーンはとても悲しくて泣けました。しんちゃんとシロの絆には心があたたかくなりました。
30代	女性		3	子どもたちと一緒に見ましたが、子どもでもわかりやすく怖い場面もなく見やすかったです。 ななどシロが可愛かったです。
30代	女性		3	シロが主役なのは良かったけれど、色々中途半端な内容だったので、そんなに昨今はコンプラが大変なのかと思ってしまった。もっと強烈な悪役が見たい。
30代	女性		4	小さい子供がみるアニメって死に直面しても回避して助かるっていうエピソードなイメージが大きいけど、ダイレクトに他人を助けて死んでしまうシーンがあるのは、良い意味でも悪い意味でも子供にとってかなり印象的に残るだろうなと思った。大人が見る分には普通に面白い。
20代	男性		3	あまり面白くなかったかなと思います。ラストにナナが死ななきゃよかったのに。映画館でオラたちの恐竜日記を見たのですがナナが死んで子供たちがすごい泣いていた。最初らへんから中盤までは面白かった。ラストは最悪でした。子供たちが泣いててかわいそうだと思った
30代	女性		3	悪くはないですが、昔のクレヨンしんちゃんの映画のように、家族愛に溢れてその中でも起承転結があって、大人も考えさせられるような深い内容の映画ではないように感じました。 最近のクレヨンしんちゃんは、面白いですが、内容の深みが薄い気がします。
40代	男性		3	色んな恐竜が出てきたり、ギャグ要素もあり面白いが命の大切さなど内容がいつもとちょっと違うしんちゃん映画だと思う。
40代	女性		5	今回初めてクレヨンしんちゃんと映画を見ましたが、甘く見ておりました… 昔から馴染みのある登場人物のキャラクター設定、一人一人の個性が活かされとても引き込まれました。 なかでもナナとシロの関係性がとても良く、当時6歳だった娘に動物との絆を好きなキャラクターを通して目で見て感じ、考えさせられるきっかけになったと思います。 最後のナナが自分の身を削って大切な人を助けるシーン。自分でも驚くほど泣いてしまいました。 とても良い映画です！！！！ ここ最近みた映画の中では色んな面で1位でした！
40代	男性		4	渋谷が恐竜たちで大混乱になったとき、ナナが仲間のスピノサウルスを呼び寄せてしんちゃんたちを救うシーンは感動しました。 ナナとの別れも感動しました。
30代	女性		5	はじめはのび太の恐竜のパロディかなとも思いましたが、それだけでなくオリジナリティがあり、笑いも多くもっと大きい感動がありました。しんちゃんの映画のなかでも上位のほうです。
20代	男性		2	あんまり面白くなかったです。登場人物とストーリーがとにかく謎でした。前の方が面白かった。
30代	女性		5	子どもと楽しめる映画で、感動して涙しました。
30代	女性		4	家族、仲間の絆がより深まるストーリー。命の大切さや自然についてもわかる
30代	男性		5	小林由美子の声が非常によかったです

20代	女性		シロとしんちゃんとナナ(恐竜)の絆がとっても分かる心が動かされた映画でした！ 涙が止まらなくなるシーンも多々あり心に染みました。 5 動物の大切さや絆が構築されていることによりお互いが助け合うことが出来るため家族のように一緒に過ごす大切さを知ることが出来とても楽しかったです。
30代	女性		ところどころに、これぞクレしんの映画！というような、ボケがあり、子供と一緒に楽しく観れました。終始惹き付けられる内容でしたが、命は終わりがくるものという大きなテーマも感じられました。 4
60代	男性		この恐竜アドベンチャー映画は、予想以上に心を揺さぶる作品でした。しんのすけと赤ちゃん恐竜「ナナ」の種族を超えた友情が物語の核となり、「命の終わり」や「別れ」という重いテーマを子どもにも分かりやすく描いています。その深い絆に涙が止まりませんでした。 アニメーションは圧巻の出来栄です。自然を舞台にした映像は迫力満点で、恐竜たちの躍動感まるで本物のよう。壮大なスケール感としんのすけらしいコミカルな動きが見事に調和しています。 もちろん笑いの要素も健在。しんのすけの予測不能な言動と野原一家の温かいやり取りが、感動の物語に絶妙なユーモアを添えてくれます。笑いあり涙ありの完璧なバランスで、まさに「しんちゃん映画」の真骨頂と言える傑作です。 5
20代	女性		仲間想いのしんちゃんに感動しました。 4
40代	女性		いつも外で犬小屋とナナの家を並べて過ごしたシロとナナの絆が強いところが可愛らしくも所々感動する。非日常のカスカベには戸惑いを感じるが、クライマックス、ナナはしんのすけたちを守るために犠牲になるところは泣けてきて、しんのすけたちは命の大切さとナナへの思いを心に刻んで成長している場面は心を打たれる。 5